



# 市議会だより

□発行日 平成22年(2010年)8月1日 □編集と発行 泉南市議会報編集委員会 泉南市樽井一丁目1番1号 TEL.072-483-0008 FAX.072-484-2085

市議会ホームページもご覧ください。 <http://www.city.sennan.osaka.jp/~gikai/>

泉南市議会  検索



マーブルビーチ(恋人の聖地)の夕日

## 平成22年第2回(6月)定例会

# 新設幼稚園 工事請負契約3億6400万円を可決 (旧済生会病院跡)

<b>も</b>	代表質問 市長の市政運営に対する各会派の質問	2 3
	一般質問 市政全般に対する各議員の質問	4
<b>&lt;</b>	委員会審査の概要 各委員会で審査されたおもな議案の審査概要	5 6
	本会議での審議結果	7
<b>じ</b>	会議結果、議会のうごき	8

市長に  
問う

# 代表質問

「代表質問」は市長の市政運営方針に対し、市議会の各会派が質問するものです。今定例会では、市議会のすべての会派が代表質問を行いました。

公明党



なか おひろ き  
中尾 広城

今議会の代表質問は、例年の代表質問ではなく、4年に一度の市長選後の議会であり3月議会に引き続きインターネット同時配信もされる中、いっぴなく緊張した空気の中で質問でありました。

はじめに、行財政問題に対する所信とこれまでの実績について質問いたしました。そして、市政方針の各項目について、教育問題では、泉南市の歴史や社会教育に係わる生涯学習施策について質問いたしました。

また、市民の健康づくりでは、市長のマニフェストの乳幼児医療の歳児引き上げについては評価するものの、就学前までの最終年次についての指摘と妊産婦検診の助成金額の低さについて今後、引き上げていただきたいことの要望をいたしました。

また、かねてより、本市が全国的に「住みやすさランキング」の順位が年々上がっている中、泉南ブランドの熟成、本市における就労支援の更なる充実等、市長と熱く議論させていただきました。

日本共産党



おおもり かず お  
大森 和夫

一、アスベスト被害者の救済について

泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の支援を求める。すべてのアスベスト被害者の早期救済を国に要望し、隠れた被害者の掘り起しの取り組みを求める。

一、さわやかバス（コミュニティバス）の増車が実現

バスを増やし、和泉砂川駅や新家駅を中心にしたコースをつくるなど改善・拡充を求める。「1台増車し、要望について検討する」と回答がある。

一、農業振興策について

地元農産物を取扱う店に市の「推奨シール」（仮称）をはってもらうことを提案。学校給食などに地元農産物を利用することを求める。

一、雇用対策について

年間3万人を超える自殺がある。経済的な理由が多く、雇用問題の相談活動の充実を求める。

一、同和偏重の人権政策の見直しを求める

長年の運動で部落差別は基本的に解消されるところまで到達している。国の同和对策特別措置法も失効した。しかし、市は同和政策課を残している。

地方民会



きた でやす ひろ  
北出 寧啓

今は人類の存続をかけて地域・市民社会・国・地球の新たな枠組みをつくる時代であり、そのキーは環境とケアとなる。巨額の負債を抱え、世界でも類を見ない速さで少子高齢化社会に突入しつつある日本では、子育て支援や高齢者介護など、ケアすることの重要性が見直されてきた。環境とケア、それは国と社会の変革の原点であり、従来の近代国家・市民社会に根本的な枠組みの変更を迫るものである。

本市も、日本の市民社会、福祉国家の見直しを見定めつつ、コミュニティをベースに、環境、ケアあるいは地域福祉を機軸とした諸政策を展開しなければならぬ。無論、財政の自立は当然、それらの諸政策の展開のベースである。市民も自分の権利だけでなく、他人や地域社会への献身を始めざるをえない。環境問題はもちろん、高齢者問題はもはや他人事ではなく、介護者も被介護者もそれ以外の人々たちにも自分の問題として考えなければならぬ時代になった。

拓進クラブ



まつら 真 砂 満

質問者(議員)と答弁者(理事者)が事前に質問内容をすり合わせし、お互いが議場で作文を読むようなことをやめるよう拓進クラブでは、事前の聞き取りを控えさせていただいている。今までは、職員が質問内容をより具体的に聞き取り、答弁書を作成し、答弁者にレクチャーをして本番に臨んでいた。

議会前になると議員控室前に何人も職員が聞き取りのために順番待ちをしている光景が日常的に繰り返されていた。市幹部職員一人当たりの時間単価を考えた場合、これ程の無駄遣いはない。お互いが議場で緊張感を持って質疑応答し、今年度から導入された映像を通じて市民の皆さんにご覧いただけるように心がけている。そういった意味では、他の議員と重複する質問内容が想定されるため、できる限り原稿も事前に用意せず、ぶっつけ本番での真剣勝負を実践します。

皆さんには、議会ホームページから議会中継か議事録検索でご覧いただければ幸いです。

市政研究会



つまがさき 英 男

一、今後の町づくりについて

樽井駅のバリアフリー化とりんくうタウン、海岸への利便性の向上のため、りんくうタウン側にも改札口の設置を求める。

一、行財政改革について

① 市長として行政運営に活性化に対する決意について

② 厳しい財政に対する歳入確保への取り組みについて

③ 地場産業の育成、商工業の振興について

一、幼保一元化について

市長に対し平成26年度には実現する約束に変わりはないか?

一、第4次総合計画について

① 総合計画は市の基本計画であるが、これまで実施計画がつくられてこなかった。

② 第5次総合計画は必ず実施計画をつくって欲しい。また、市民も見やすい、分かりやすい計画書にしてはどうか?

一、火葬場問題について

① 事業費の節約の観点から、樽井火葬場で新たに火葬場をつくるのはどうか?

② 4年間でできるか?

樽井区との話し合いが必要である。

心政クラブ



やま 良 徳

一、農業振興について

新たな農地制度で農地法も改正され、一部規制の強化もあるが、農地の貸借を進め、効率的に利用することとなっています。地産地消を推進するため、より積極的な農業振興策が必要と考え、市長の見解は?

一、閑空活性化について

国の成長戦略ビジョンでは、伊丹・閑空の経営統合やLCC専用ターミナルの整備について提案されているが、地元市長としてどう考えられているか?

文化・歴史を生かしたまちづくりについて

熊野街道のような歴史的資産を観光と結びつけていくのか? 観光産業とすべく、観光政策が不可欠であると考えますが、市長の見解は?

一、各駅のエレベーター設置について

和泉砂川駅の4基目の設置を、支援学校の整備に伴い、早急に大阪府に要望すべき。また、樽井駅については設置に向け、基本構想策定を急いでいただきました。

進めます! 議会改革



議会中継 開会から閉会まで

本格実施

市議会では、会議の活性化、透明性、情報公開を進めるため「議会改革に関する懇談会」を設置し、議会改革に取り組んでいます。

3月定例会から、試行的に本会議の様子の中継を市役所玄関ロビーとインターネットで始めましたが、6月定例会からは、本会議の開会から閉会まで、すべて中継を始めました。市議会の活動をより身近に感じていただくためにも、ぜひ、ご覧ください。



3月から開始した 議会インターネット中継

ココを  
チェック!

# 一般質問

「一般質問」とは、教育、福祉、財政など、市政全般に対し、質問し、確認することです。  
6月定例会では、8人の議員が質問を行いました。



日本共産党  
成田政彦  
なりた まさひこ

- ① 第4次総合計画は今年で最終年の10年目にあたるが、結果は500億円の借金が残っただけ。
- ② 遅れている老朽校舎の建て替えを早急に。
- ③ 樽井駅・新家駅にエレベーターの設置を。
- ④ 福祉タクシーの復活及び地域活動支援センターの土曜日活動復活を。



公明党  
竹田光良  
たけだ みつよし

- ① 教育施設の耐震化100%達成にむけてと施設
- ② 幼稚園再構築と幼保一元化の課題は?
- ③ 調整区設置の経緯は?
- ④ コミュニティバス4台の実現にむけてと商工業

振興基本条例について。  
⑤ 成長戦略会議による3空港の方向性について。



日本共産党  
松本雪美  
まつもと せつみ

- ① J R利用者、牧野区の要望である和泉砂川駅側にエレベーター設置・トイレ改修は、支援学校開設にあわせて府やJ Rに働きかける。
- ② ゴミ有料化前と後の清掃課職員数は全く同じ。ゴミ袋代から有料化経費を引いた差益4208万円は財政赤字の穴埋めにされたと追及。



地方民会  
森 裕文  
もり ひろふみ

- ① 新駅周辺交通対策についてーポトルネットワークに向けて、過去の経緯

を超越して一丸となって、  
一歩でも前進できる組織体が必要ではないか。  
② 財政力強化に向けてー資金調達手法の多様化、資産マネジメント、バランスシートの活用。  
③ 地域コミュニティの創生について。



公明党  
井原正太郎  
いばら しょうたろう

- ① 首池跡地の安全確保。
- ② 火葬場の建設と財政への影響と今後の考え方について。
- ③ 水道事業財政再建への進捗について。
- ④ 樽井保育所の民営化への課題について。
- ⑤ 新幼稚園建設への土壌調査結果と対応・開園に向けての進捗状況について。



公明党  
原 憂子  
はら ゆうこ

- ① 子宮頸がん細菌性髄膜炎の予防ワクチン接種助成について。
- ② 乳がん・子宮頸がんの無料検診について。
- ③ 乳幼児医療費無料化の歳児引き上げについて。
- ④ 父子家庭への児童扶養手当について。
- ⑤ 広報せんなん配布への課題について。



日本共産党  
和気信子  
わけ のぶこ

- ① 子ども医療助成は就学前まで拡充を！国保税を引き下げ払える額に。
- ② 認知症対策の充実と施設の増設及び介護職員の処遇改善を求め。
- ③ 保育所の最低基準厳守で保育の保障を。
- ④ 児童虐待の対応、相談事業の充実を。
- ⑤ 公園の遊具の整備と安全管理を。
- ⑥ 危険な場所、道路の整備を急げ！



無所属  
小山広明  
こやま ひろあき

人間は意識を越えて生きている、それを担うのが政治。幼稚園に保育所、老人施設の併設でバランスの取れた幼児教育を。市議補選批判は制度への無理解では、に市長は迷惑した、と噛み合わない。市長退職金廃止・首池の汚染土壌撤去は議会主導でやろう。



# 委員会報告

## 主な議案の審査概要

本会議に提案された議案は、委員会に付託され、専門的、集中的に審査が行われました。

### 総務文教

常任委員会

6月18日に委員会を開催し、議案4件の審査を行い、すべて可決しました。

#### 工事請負契約の締結について

**問** 今回、幼稚園建設予定地からふっ素が基準値を超えて検出されたことについて、市の対応は？

**答** 今回の土壤汚染調査によって、幼稚園建設予定地から基準値を超えるふっ素が検出されたため、今後、土壤汚染対策法に基づき対応を行うことが必要であると考えており、園児が直接土壌に触れることのないように対策を行っていきます。

ただし、今回、ふっ素が検出された場所については、園舎または、進入路の位置にあたり、アスファルトなどで舗装されることから、直接土壌に触れる恐れはなく、基準値を超えたことによる健康被害は問題ないと考えられます。

#### 幼稚園新設工事の入札結果は？

**答** 今回の入札については、建築本体工事と設備工事に分けて発注を行い、建築本体工事については、一般競争入札として実施しました。公募の結果、38社から応募があり、うち29社が最低価格となったため、抽選の結果、落札金額については、約3億6400万円となりました。

#### 泉南市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 国の税制改正による子ども手当の創設、高校無償化に伴い、子育て世代の負担が軽減される一方、扶養控除や特定扶養控除の廃止により、低所得者については負担が増えるのではないかと？

**答** 子ども手当の創設や高校無償化によって、全体的に世帯の収入は増加するものの、一方では、扶養控除などの各種控除が廃止されることから、一部の世帯では負担増になるケースもあります。

### 厚生消防

常任委員会

6月21日に委員会を開催し、議案1件と請願1件の審査を行い、それぞれ全会一致で、可決(採択)しました。

#### 泉南市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 利用者は病院窓口で一旦支払いを行い、その後の申請により市から助成金が支払われるのか？

**答** 1医療機関の利用では1回500円、月2回、合計1000円までが自己負担となる。複数の医療機関を利用した場合、合計2500円までが自己負担額となるため、それ以上の自己負担分については、事後の申請により還付がなされます。

#### 月2500円を超える自己負担額について、市の方で還付するというケースは、頻繁にあるのか？

**答** 2500円以上負担するということは、3医療機関以上にかかることとなるため、対象者は少ないと考えます。

#### 子どもの治療的教育の充実及びセンター設立に関する請願

※答弁は請願の紹介議員

#### 本請願の内容における、市内の対象者数は？

**答** 放送大学の知的障害教育総論における全国平均値を泉南市に置き換えた場合、平成20年3月31日現在では、市内の児童生徒総数6748人のうち、570・2人が対象となります。

#### 障がい児の自立支援についての考えは？

**答** 個々人に応じた、専門性のある療育を行うことが重要であると考えており、早い段階において療育をする訓練をしていくことによって機能回復が図られるのではないかと考えています。

#### 具体的にどのような施策を充実させるべきか？

**答** リバースクールを充実させるべきであると考えます。



子ども支援センターの心身障がい児通園事業 (リバースクール)

# 平成22年度予算審査特別委員会 審査の概要と結果

6月22日に委員会を開催し、平成22年度一般会計補正予算及び下水道事業特別会計補正予算について審査を行いました。

「一般会計補正予算」の審査では、成田政彦委員ほか1名から農免農道整備事業費及び信達樽井線改良事業費（約1億円）を減額する修正案が提出されましたが、修正案は賛成少数で否決し、原案は賛成多数で可決しました。

## 平成22年度一般会計補正予算

### 歳入

**問** 補正予算の8割を占めている子ども手当について、先の子育て応援手当と比較して市の考えは？

**答** 子育て応援手当は、一時的な景気回復策であったが、子ども手当は、恒久的な財源を必要とし、将来の大きな負担となる。また、税制改正で扶養手当の見直しによって増税となっていることから、国は地方自治体の考えも重視する必要がありと考えます。

### 歳出

**問** 鳴滝第一、第二小学校の統廃合にあたり、市のモデル校としての位置づけは？

**答** 教育委員会としては、モデル校以前に、現在、老朽化した幼稚園、中学校の校舎の大規模改造を計画しており、各地域の保護者などの要望や市の財政、予算を検討し、市のモデル校の絞り込みを行っていきます。

また、大規模改造については、平成24年度には、

大規模改造の全体計画を示す予定です。

**問** 信達樽井線改良事業及び砂川樫井線新設事業の事業内容は？

**答** 信達樽井線改良事業は、鳥取吉見泉佐野線の両側の歩道整備に要する経費で、大阪側が約200メートル、和歌山側が約300メートル歩道の整備を行うものです。砂川樫井線新設事業は、主に公有財産の購入費用であり、現在、未買収地の地権者と用地取得の交渉を行っており、その用地買収に係る経費です。

**問** 泉南地区農免農道整備事業負担金の内訳は？

**答** 大阪府が事業主体となり、国からの補助が2分の1、府の補助が4分の1、市負担が4分の1であり、用地調査、基準点測量、路線測量、実施設計、地質調査を行うものです。

### 討論

#### 補正予算に対する修正案

**賛成討論** 教育費では、学校施設の老朽化による耐震補強

改修工事に関する問題や鳴滝第一・第二小学校統廃合に関する問題などについて、教育予算が不十分であることや、民生費では、乳幼児医療助成について、大阪府内から見ても本市は遅れており不十分であること。

また、土木費では、失業などにより住居を失うなど、厳しい住環境においても、財政難により市営住宅の改修予算も組めず、市民への十分な手当てもできないこと。このような状況を招いた原因である信達樽井線改良事業や農免農道整備事業は、不要で無駄な公共事業であり、このような予算を見直して、教育、医療、住宅などに使うべきであると考え、ことから本修正案については賛成する。

#### 原案（市長提案）

※原案に対する討論はありませんでした。



大規模改造工事が行われる鳴滝第二小学校

### 採決

#### 補正予算に対する修正案

**賛成** 大森、成田  
**反対** 河部、中尾、森、角谷、南

#### 原案（市長提案）

**賛成** 河部、中尾、森、角谷、南  
**反対** 大森、成田

#### 平成22年度下水道事業特別会計補正予算

**問** 下水道事業特別会計における今後の事業展開について、市の考えは？

**答** 現在の財政状況を勘案しつつ事業の効率化を図りながら、今度、新たに馬場地区を含めた下水道整備を行う予定であり、一定の目処が立った段階で、山手側への計画を進めていきます。

※原案に対する討論はありませんでした。

### 採決

#### ◆全会一致で

可決しました。

# 本会議

## 平成22年度一般会計補正予算 11億9771万5千円を可決

委員会の審査を経て、本会議で採決した結果を記載しています。

### 工事請負契約の締結 （2022年）

**内容** 公立幼稚園の再編計画に基づき、新たな施設機能を持つ幼稚園を新設し、保育教育環境の向上を図るもの

**賛成** 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南  
**反対** 和氣、大森、小山、成田、松本

### 泉南市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**内容** 前期乳幼児の対象年齢を5歳まで引き上げ、制度の充実を図るもの

◆全会一致で可決

### 平成22年度 一般会計補正予算

**内容** 子ども手当（9億6278万円）、樽井保育所耐震補強工事（4274万円）、農免農道整備事業（780万円）、信達樽井線改良事業（9278万円）、鳴滝第一・二小学校統廃合事業（1億1060万円）など11億9771万5千円

### 予算に対する修正案 （成田政彦議員ほか3名）

**内容** 信達樽井線改良事業、農免農道整備事業（約1億円）を減額

**賛成** 和氣、大森、小山、成田、松本  
**反対** 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南

### 原案（市長提案）

**賛成** 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南  
**反対** 和氣、大森、小山、成田、松本



耐震化工事が始まる樽井保育所

### 平成22年度下水道事業 特別会計補正予算

**内容** 下水道建設費補助金、一般会計繰入金、下水道事業費、緊急雇用創出基金事業補助金、共済費、賃金、需用費、工事請負費、1億2987万7千円の増額

◆全会一致で可決

## 請願

### 全会一致で採択

◆子どもの治療的教育の充実及びセンタ―設立に関する請願

## 意見書

### 全会一致で可決

- ◆大阪・泉南アスベスト被害の早期全面解決を求める意見書
- ◆小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書
- ◆発達障がいやその他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディアデイジー教科書の普及促進を求める意見書
- ◆未就職新卒者の支援策実施を求める意見書
- ◆児童虐待対策の抜本的強化を求める意見書
- ◆機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書

## 意見書

### 賛成多数で可決

◆「政治とカネ」をめぐる疑惑の徹底解明と政治の浄化を求める意見書

**賛成** 河部、和氣、原、中尾、木下、真砂、大森、小山、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、南  
**反対** 梶本、森、北出

◆コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書

**賛成** 和氣、梶本、原、中尾、大森、小山、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、南  
**反対** 河部、木下、真砂  
**退席** 森、北出

### 賛成小數で否決

◆普天間基地の無条件撤去を求める意見書  
**賛成** 和氣、大森、小山、谷、角谷、成田、松本、南  
**反対** 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、北出

※可決された意見書のくわしい内容は市議会ホームページに記載しています。

●第2回(6月)定例会で審議された主な議案と審査結果

	件名	結果
議案審議	例月現金出納検査結果報告(5件)	報告済
	専決処分の承認を求めるについて(平成21年度一般会計補正予算(第9号)ほか4件)	原案承認
	平成21年度及び22年度土地開発公社経営状況について	報告済
	泉南市教育委員会委員の任命について(柳澤 泰志 氏)	原案同意
	工事請負契約の締結について	原案可決
	泉南市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	泉南市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	平成22年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第2号) ※議員提案の一般会計補正予算に対する修正案は否決	原案可決
意見書	平成22年度大阪府泉南市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
	大阪・泉南アスベスト被害の早期全面解決を求める意見書ほか7件 ※詳しくは7ページをご覧ください	原案可決
請願	子どもの治療的教育の充実及びセンター設立に関する請願	採択

6月

29日 平成22年度予算審査特別委員会(付託事件審査)  
22日 議会報編集委員会

21日 厚生消防常任委員会(付託事件審査及び現地視察)  
18日 総務文教常任委員会(付託事件審査)  
11日 産業建設常任委員協議会(6月)定例会  
9日 産 業 建 設 常 任 委 員 協 議 会  
8日 厚 生 消 防 常 任 委 員 協 議 会  
7日 総 務 文 教 常 任 委 員 会 ・ 協 議 会  
4日 議 会 運 営 委 員 会  
1日 第2回議会改革に関する懇談会



厚生消防常任委員会による樽井保育所耐震化対策事業の視察(樽井幼稚園にて)

5月

26日 全国市議会議長会定期総会  
25日 全国民間空港所在都市議会協議会定期総会  
18日 行政視察来庁(神奈川県伊勢原市議会)  
17日 行財政問題対策特別委員会  
12日 行政視察来庁(新潟県燕市議会)  
12日 議会運営委員会

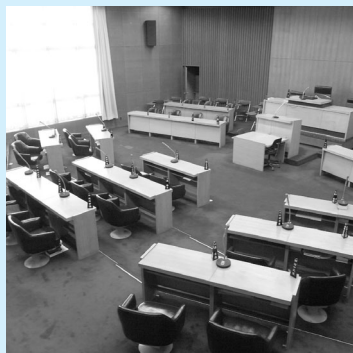
4月

28日 各派代表者会議  
20日 近畿市議会議長会定期総会  
12日 議会報編集委員会

●議会のしるし●

議会報編集委員会

- 委員長/河部 優
- 副委員長/原 憂子
- 委員/和氣信子
- 梶本茂 穂
- 谷 外 嗣
- 南 良 徳



**市議会を傍聴してみませんか**

本会議は誰でも自由に傍聴できます。市議会の活動を知り、市政の内容をより理解していただくためにも、ぜひ傍聴してください。傍聴席は30席あり、車椅子による傍聴もできます。次の会議は9月中旬の予定です。詳しい日程は、議会事務局(072-483-0008)までお問い合わせください。